

CT・RI検査説明書

CT検査

X線を利用し、身体の内側の構造を断面図によって詳しく調べます。
検査はCT装置の寝台に仰向けに寝て受けます。
検査時間は15分ほどです。

冠動脈造影CT

冠動脈の様子がわかるよう造影剤を注入してCT画像を撮影します。この検査は動かないことが特に重要です。
呼吸の合図に合わせて呼吸をしっかりと止めていただき、静止して撮影を行います。

RI検査

核医学検査では、ごく微量の放射線を出すラジオアイソトープ<RI>という薬剤を投与し病気の診断や治療を行います。体内に投与されたRIは診断したい臓器に集まりガンマ線と呼ばれる放射線を出しそれをガンマカメラという撮影装置でとらえて写真にします。ガンマカメラは非常に精度が高いため少量のRIを投与するだけで病気を診断することができます。
RIは検査が終わると短期間でなくなる性質をもっていると同時に尿や便中に排泄されるので体内に残る心配はほとんどありません。

2核種（ $^{201}\text{Tl} + ^{123}\text{I-BMIPP}$ ）

2核種同時撮影法とは、同一患者に2種類の核種を同時に投与して撮影するものです。これによる利点は検査が短時間となり、患者様の負担が軽減されます。位置のずれがなく、これらの異なる画像が得られることです。いずれかの核種の集積が著しく低くても、心筋全体の輪郭を把握することが可能です。

運動負荷心筋シンチ検査

運動負荷シンチ検査は、自転車による運動により心臓に負荷をかけてRI検査をします。心筋に栄養（血液）を送る血管（冠動脈と言います）に細いところがある場合、運動により心臓に負担をかけると心臓に十分に栄養（血液）が送られず、放射性物質が心臓に取り込まれなくなります。これを、画像で診断します。

薬物負荷心筋シンチ検査（アデノスキャン心筋シンチ検査）

薬物負荷シンチ検査（アデノスキャン心筋シンチ検査）は、運動の代わりに薬物によって心臓に負荷をかける検査で、運動で十分に心臓に負担をかける状況が作れない方に適しております。心臓に負担をかける薬剤となりますと、体に悪い？とご不安を感じる方も多いかと思えます。しかし、この薬剤はある種の不整脈を停止したり、めまいの改善薬として日常使われている薬です。また、薬剤の効果も中止後、約1～10秒後には消失してしまいます。

医療法人 道心会 埼玉東部循環器病院

越谷市大沢3187-1
048-960-7100
放射線科（内線 170）